

令和8年2月27日（金）  
岡谷市男女共同参画審議会

## 第2回岡谷市男女共同参画審議会

# 会 議 録

### 【出席者】

#### ○委員（10名）

鮎沢 美知 委員、赤間 公子 委員、今井 郁乃 委員、梅垣 つね 委員、  
小口 まゆみ 委員、北村 隆雄 委員、熊井 卷文 委員、高橋 祥二 委員、  
濱 喜一郎 委員、矢崎 京子 委員

（※欠席者…有賀 メアリー 委員、柏原 明彦 委員、藤森 賢二 委員、  
アドバイザー長野県男女共同参画センター 血脇 秀明 所長）

#### （事務局）

地域創生推進課長 日岐 充利  
地域創生推進課統括主幹 土屋 文子

# 第2回岡谷市男女共同参画審議会 会議録

令和8年2月27日（金）  
午前10時～午前11時00分  
市役所6階 605会議室

## ●市民憲章唱和

### 1 開会

### 2 会長あいさつ

皆さんおはようございます。

近年、最低賃金の上昇や税制度の見直しにより、働き方にさまざまな変化が生じています。

賃金水準の上昇によって、従来よりも短い労働時間で一定の収入を得ることが可能となり、働き方の選択肢が広がってきています。

配偶者控除の見直しなど制度改正も進められており、家計やライフスタイルに応じた柔軟な働き方がしやすい環境になりつつあります。学生についても、一定の収入まで扶養控除の対象となる制度があり、家庭にとっての支援につながっています。

一方で、社会保険制度との関係については別途考慮が必要で、パートタイムを含めた働き方は大きく変わってくるものと考えられます。

現在、日本では人口減少や少子高齢化に伴い、労働力が不足している状況です。一方で、母親たちが働くことで収入を得て、女性の自立が可能になってきています。このことが様々な状況につながっていますが、ともに良い社会を築いていける世の中になってほしいと願っています。

現在、女性が初めて総理大臣になりました。投票率などを見ても、国民の期待は大きいものがあります。若い世代の生活も大きく変化しました。共働き世帯がほとんどであるため、子供の預け先については、今後多くの課題を検討していく必要もありますが、男性も女性も同様に、家事・育児に取り組む家庭も増えてきました。

近年は、ジェンダー平等やSDGsに関する議論も国内外で活発に行われています。世界各国においてさまざまな動きが見られる中、本日は岡谷市国際交流員であるジャーレッド・スタンフォード様より、ニュージーランドの状況などをお聞かせ願えれば幸いです。

本日はどうぞよろしくお願いたします

### 3 会議事項

#### (1) 講話「ニュージーランドにおける男女平等の現状」について

講師：岡谷市国際交流員 ジャーレッド・スタンフォードさん

副会長

本日は、ご都合により 有賀メアリー委員、柏原明彦委員、藤森賢二委員が欠席でございます。

また、アドバイザーの長野県男女共同参画センター血脇所長さんも公務で欠席となります。

本日は、現実に向けた意識づくりの中で国際的視点に立った意識の浸透についての情報収集ということで、岡谷市国際交流員ジャーレッド・スタンフォードさんよりお話をお聞きし、その後、意見交換を行いたいと思います。

	ここからの議事進行につきましては、鮎澤会長さんをお願いいたします。よろしくをお願いいたします。
会長	ジャーレッドさんはニュージーランド出身であり、ニュージーランドはジェンダー指数が世界で第4位となっています。日本との違い等のお話を伺えるかと思います。ジャーレッドさん、よろしくをお願いいたします。
ジャーレッド	<p>岡谷市国際交流員のシャーレッド・スタンフォードと申します。私は今、もうすぐ岡谷市での勤務2年目が終わります。</p> <p>高知県で5年間、小中学校で英語を教えた経験、そして市役所で1年間働いた経験もあります。</p> <p>日本での経験は合計で8年目になります。その中で、いくつかの文化の違いを感じてきました。私は男女平等に関して、正直、あまり深く考えたことがありません。</p> <p>男性と女性の間には、あまり大きな違いはないと考えているので、あまり考えたことはありませんが、今日は私の経験、日本で見てきたことを紹介します。</p> <p>&lt;配布資料に沿って、説明&gt; ⇒ 内容省略 (会議資料)</p>
会長	ありがとうございました。質問等ありましたらお願いします。
委員A	子どもの頃から、色は「男は青」「女は赤」といった固定観念がありました。トイレの表示なども含め、今の社会は変わりつつあると感じていますが、ニュージーランドではどうですか。
ジャーレッド	<p>ニュージーランドでも昔はそのような考え方がありましたが、現在はほとんどありません。</p> <p>トイレ表示なども性別で分けない方向になってきています。学校ではジェンダーに配慮したトイレも設置されています。</p>
委員B	出生率はどのような状況ですか。
ジャーレッド	日本ほど問題にはなっていないと思います。移民が多く、人口は増えています。
委員C	女性の減少などの問題はありますか。
シャーレッド	その点については詳しくは分かりません。
委員D	日本では校長など管理職に女性が少ないですが、ニュージーランドではどうですか。
ジャーレッド	女性リーダーは多いと思います。
委員D	その理由は何でしょうか。
ジャーレッド	文化的背景が関係していると思います。マオリ文化や歴史的背景の影響があると考えます。

<p>会長</p>	<p>日本にも女性のリーダー的存在は歴史的に存在しましたが、社会構造の影響もあると思います。</p> <p>本日はお忙しい中、ありがとうございました。</p>
-----------	---

## (2) 男女共同参画に関する岡谷市の現状について

<p>会長</p>	<p>次に、会議事項(2)男女共同参画推進事業実施状況(中間報告)についてについて、事務局から説明をお願いします。</p>
<p>主幹</p>	<p>《男女共同参画推進事業実施状況について 説明》</p> <p>本日、男女共同参画おかやプランⅦ(概要版)を配布させていただいております。</p> <p>今年度は、昨年度策定したこのプランの計画に沿って事業をスタートしているところです。</p> <p>岡谷市が目指す、お互いの人権を尊重し、多様な生き方を認め、喜びも責任も分かち合い、性別に関わることなく誰もが能力を十分に発揮できる男女共同参画社会を実現するために、3つの基本目標を掲げて事業を展開しているところです。</p> <p>また裏面には、それぞれの基本目標達成に向けた取り組みの目標値を記載しておりまして、この目標に近づけるよう、各課において今年度も様々な事業に男女共同参画の視点を取り入れて実施しているところです。</p> <p>概要版をお開きいただきまして、左下の「基本目標1 男女共同参画社会の実現に向けた意識づくり」の部分になります。</p> <p>こちらでは、誰もが個性や能力を発揮しながら自分らしく生活できるよう、固定的な性別役割分担意識を解消し、性別に関わりなく多様な生き方を選択でき、お互いを尊重し認め合える社会を目指しております。</p> <p>そのため、男女共同参画の意義や必要性について理解を深めるための広報啓発、教育・学習の充実、意識の浸透を図るための事業を実施しているところです。</p> <p>今年度の主な事業としましては、男女共同参画に関する広報啓発活動の推進事業として、3月末に配布される「広報おかや」と同じタイミングで、男女共同参画啓発リーフレットを全戸配布する予定としております。</p> <p>現在その内容を構成中でありまして、案という形で皆さんにも配布させていただきました。このようなものを全戸配布する予定となっております。</p> <p>ご覧いただきますと、啓発リーフレットの中には、性別役割分担に関連した内容を多く記載しておりまして、「なぜ今、男女共同参画社会の実現に向けた意識づくりが必要なのか」といった問題提起を行い、固定的役割分担意識やアンコンシャス・バイアス(無意識の思い込み)について考える機会となるようにしています。</p> <p>また、これまでの取組実績についても掲載していく予定です。</p> <p>裏面には取り組み指標を記載し、「身近なところから自分ができることを実践してみよう」という形で、実践を促す内容としております。</p> <p>写真も多く掲載し、手に取っていただきやすい構成としておりますので、こうしたものが各家庭に届く予定であるとご承知おきいただければと思います。</p> <p>リーフレットには今年度の事業実績の内容も含まれておりますので、参考にご覧いただければと思います。</p>

今年度は、6月23日から29日の男女共同参画週間に合わせ、市役所1階ロビーにおいて啓発パネル展示を実施しました。子どもたちのポスター入選作品や、市内の子育て応援企業の一覧などの展示、啓発ティッシュの設置などを行っております。

また、図書館にもご協力いただき、特設コーナーを設置するなど、関心と理解を深めていただく取組を実施しております。

教育・学習の取組としては、子どもの頃からの意識啓発を目的に、市民団体と共同で作成した漫画冊子「私らしく、あなたらしく」を小学校5年生に配布しております。児童生徒からは感想文も寄せられており、「この職業は女性でもできることが分かった」などの意見があり、一定の効果があつたものと考えております。

また、ポスターコンクールには今年度99作品の応募があり、小中学生に参加いただきました。11月にはカルチャーセンターにて全作品の展示を実施しております。

さらに国際的視点に立った意識啓発として、ジェンダーギャップの状況についても資料として掲載しております。

続いて基本目標2、「あらゆる分野において男女が共に活躍できる環境づくり」についてです。ワーク・ライフ・バランスの実現、多様な働き方の支援を通じ、性別にとらわれず個性と能力を発揮できる環境づくりを進めております。

主な取組として、産業振興部による女性のための就職応援セミナーや就職説明会の開催、また介護福祉課による仕事と介護の両立支援として「介護なんでも読本」を活用した出前講座を実施しております。また、消防団施設において女性専用更衣室やトイレを設置するなど、環境整備も進めております。

続いて基本目標3、「誰もが安全で安心して暮らせる社会づくり」についてです。暴力の予防・根絶、ライフステージに応じた健康支援、多様性を認め合う社会づくりを進めております。相談体制の充実を図るため、関係機関と連携し、継続的な支援体制を整備しております。

また、「女性に対する暴力をなくす運動」に合わせて図書館やカルチャーセンターで啓発展示を実施し、若年層向けに関連パネルの展示も行いました。健康福祉部では健診や健康講座などを実施し、生涯を通じた健康支援を行っております。

以上、中間報告とさせていただきます。

なお、実施件数等の詳細については、令和8年度第1回審議会において報告予定です。

会長

ただ今、事務局から説明がありました事項について、ご意見ご質問等がありましたらお願いいたします。

特になければ、議事につきましては以上としたいと思います。よろしいでしょうか。

副会長

それでは、議事は終了いたします。

以上を持ちまして、令和7年度第2回岡谷市男女共同参画審議会を終了いたします。

皆様お疲れ様でした。

6 閉会